

# よしかわICT教育通信

発行：R4.10 吉川市教育委員会 ☎984-3564(学校教育課)

Vol. 15

ICTとは、Information and Communication Technology、つまり「情報通信技術」を意味します。  
ICT教育は、教育現場で活用される情報通信技術そのものや、取組の総称です。

## プレゼンテーション大会 × 探究的な学習

希望して集まった18名の児童生徒が7月からプレゼン力養成講座を受講し、その成果を10/1の大会で披露しました。今年が2回目の開催となったプレゼンテーション大会。子供達はスライド・主張内容・表現方法など、本講座で学んだことを存分に発揮し、素晴らしい発表を見せてくれました。市長賞・教育長賞・審査員特別賞に選ばれた児童には、閉会式で賞状と副賞が贈られました。

本講座では自ら設定した題材について取材をしたり、タブレット端末を使ったアンケート調査・検索をしたりしながら、自分の考えをまとめ、相手に分かりやすく伝えられるようプレゼンテーションを作成しました。

このような取組は、総合的な学習の時間をはじめ、様々な教科の中で重要とされている「探究的な学習」につながります。

市では講座・大会を通じた探究的な学習の活動が、市内の小中学校に広がっていくことを目標の1つとしています。

10/19 関小学校では大会にて表彰された児童によるプレゼンテーションが行われ、参加した児童達は真剣な表情で聞いていました。講座で学んだことを自分の学校内に広める取組も始まっています。今後、ますますプレゼン力や探究的な学習を各学校へ浸透できるよう、講座や大会の内容を充実・発展させていきます。



プレゼン大会の様子



表彰式の様子



関小学校での発表



自分で疑問に  
思ったことを  
取材・見学

←取材の様子

### ■ 探究的な学習とは ■

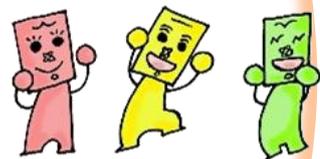
自ら課題を設定し、その解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換、協働したりしながら進めていく学習活動です。

発表スライド  
→大会の

約30万冊！

の管理は？





## 第15回

# プレゼンテーション力は デジタル社会の大きな武器



# じゅつ 術

前頁で紹介された市主催のプレゼン力養成講座、プレゼン大会、また各学校で実践しているICTを活用したプレゼンテーションの場づくり。これらは、未来を生きる子どもたちに必要な力の育成です。今回はその背景とその意味をお伝えします。

① これまで、大きな企業などがホームページ等をつくり、それを人々が見ていました。受信するだけのWeb1.0といわれる時代です。それが、SNSやブログなどで自分から発信できるようになった時代がWeb2.0。今我々が生きる時代で、誰もが自由に発信しています。

③それが、これからの社会では1カ所に集中せず、自立的で分散された仕組みができ、学びの方法、働き方、生活の仕方などが大きく変わるWeb3という時代になると言われています。



②しかし、それはSNSやブログを提供している企業が管理している状況でもあります。

④ネット上の仮想空間であるメタバースや中央集権的でない働き方のダオなども既に生まれており、今の子どもたちが大人になる頃には、そうしたものが普通に存在するデジタル社会となることでしょう。



そうした時代、社会になると自分の思いや考えをしっかりと自分の言葉で伝えることができる力が、益々重要になってきます。デジタル社会になればなるほど、対面での場面以上に自分の言葉で多くの人に考えを伝え、納得してもらえる技量も求められます。

デジタル機器や情報を駆使したプレゼンテーション力を早くから身に付けられると、来たるデジタル社会を生きる大きな武器となるのです。